

## 平成29年第11回八頭町議会定例会 発議提案理由

### ◎発議第10号

道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出について

道路は住民の生活や地域経済の活性化に欠くことのできない社会インフラの一つです。計画的な道路整備や維持管理は地方自治にとって大きな課題であります。本町においても、財源の少ない中、国・県の支援をいただきながら道路の維持管理を行っているのが実情であります。

現在、国では「道路整備事業に係る国の財政上の特例措置に関する法律」の規定により補助率の嵩上げがなされていますが、平成29年度末までの時限措置となっています。

補助率低減ということになれば、地方創生や人口減少対策に取り組んでいる地方自治体にとって、大きな負担増となります。平成30年度以降も現行制度が継続されるように、国に対して意見書を提出するものです。

### ◎発議第11号

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について

現在、全国の町村議会が抱えている問題の一つとして、地方議会の重要性が論じられる中、町村議会では、議員のなり手不足が深刻化しているところがあります。

一昨年行われました統一地方選挙においては、全国928ある町村のうち、およそ4割にあたる373町村において議員選挙が行われ、うち2割以上にあたる89町村では無投票当選となり、なかでも4町村では定数割れという状況でした。

ご承知のとおり、議員を退職した後の生活の保障も基礎年金しかありません。こうした状況において特に、今後の議会を担う若い世代の方に立候補を期待しても、サラリーマンの方々については、加入していた厚生年金も、議員の在職期間は通算されず、老後に受け取る年金も低くなってしまいます。

住民の代表として、議会がこれまで以上にまちづくりにしっかり関わっていくためには、幅広い層の世代の方々が議員をやろうと思うような環境作りを行っていかねばならないと思います。そのためには、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにするすることで、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考え、この意見書を提出するものです。